

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 3月 8日

事業所名 児童発達支援事業所こうばい 保護者等数(児童数) 53 回収 42 割合 79.2%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	42				・身体を使った遊びがしっかりできるように工夫されており、子どもも楽しみにしている。 ・適切な広さや人数などの基準が分からないが子どもが楽しみにしていて、どの職員に聞いてもその日の様子などを教えてもらえているので、適切に運営されてると思います。 ・散歩や山などの戸外活動も行われていていいと思う。	・今後も、身体をしっかり使った活動を工夫しながら行っていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	34	3	1	4	・子ども一人に対して職員が一人ついてもらったら良いと思う。 ・作業療法士がいなかったのは残念だった。とても手厚いと思う。 ・作業療法士が常駐していないので、専門性に欠けるのではないかとと思う。	・今年度から、作業療法士が不在という事で、専門性には不安があったことと思います。申し訳ありません。6月から外部から月に2回、作業療法の先生に来ていただいて、療育のアドバイスを受け、それを日々の療育に活かしています。 ・31年度も、引き続き、外部から月に2回来ていただきます。また、職員も専門性についてスキルアップをしたいと思います。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	41	1			・階段に手すりがついている。 ・写真などを使って視覚的にも分かりやすくする工夫がされている	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	40	2			・いつも清潔だと思う。 ・身体を動かす所とおやつやお弁当を食べる所と別になっているのがいい。 ・床や壁などクッション性があり、のびのびと遊べる。	・これからも日々気を付けて環境を整えていきます。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	39	1		2	・いつも話をよく聞いて計画を立ててくれている。 ・状況によりプラン変更していただき安心できた。 ・子どもの気持ちを理解し計画を立ててもらった。	・個別支援計画をたてる時には、子どもたちや保護者の方々のニーズを大事にしています。まだまだ力不足ですが、力量を高めていきたいと思っています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び以降支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	33	2			・支援計画の見直しの時期が分からない。 ・その都度発達検査を受けるのか不明点がある。	・支援計画の見直しは6か月ごとに行っています。 ・発達検査は必要な時に、保護者と相談をして、受けてもらっています。
	7 児童発達支援に沿った支援が行われているか	37	2			・子どもが見通しを持てるように、写真やパネルなどで説明してもらった。不安を軽減して参加する気持ちが大切だという事が親にも伝わった。	・個別支援計画に沿って支援を行うように努めています。日々の振り返りやモニタリングを通して、支援内容の見直しも行っています。
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	38	2			・子どもの意見も聞きながら、活動されている	・日々活動内容を変えるというよりは、繰り返しの活動の中での積み重ねも大事にしています。療育の幅は広げていきたいと思っています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	26	5	5	6	・紅梅こども園との交流がありました。 ・決められたグループの活動になっている。	・泥んこランドやトンネルランドでは、紅梅こども園の子どもたちと一緒に活動する機会があります。こうばいでは、障害がある・ないということで、交流を考えているのではなく、地域の子どもたちとの交流として考えています。
	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	41	1				・契約時に、重要事項説明書と、契約書の中で、説明させてもらっています。今後も丁寧に説明をしていきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び発達支援内容とこれに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	40			2		・児童発達支援ガイドラインは、昨年度制定され、私たちが内容把握に努めているところです。支援計画の中で説明できたらと思います。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	20	7	4	11	・特別にはないが、振り返りの時間に相談にのってもらい、アドバイスをもらっている。 ・個別懇談や送迎時に、気になることお話ししている。何もかも事業所ができるとは思わない。こう言う支援プログラムは、専門機関を設けて、希望者に実施すればいいと思う。 ・家族から発信したことに対して、助言がある。 ・普段あまり時間がなく、プログラムが行われるような対応が保護者側にも取れていない。	・ペアレントトレーニングという形はとっていませんが、振り返りの時間や個別の懇談を通して、家庭支援につながるような助言を心がけていますが、まだまだ、不十分で、力不足だなと感じています。 ・日々の悩みや困り感、不安などについて、保護者の方々と共有し、一緒に考えていきたいと思っています。また、成長の喜びも一緒に感じていきたいと思っています。
保護者 への 説明等	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの発達の状況や課題について共通理解が出来るか	40	2			・子どもの気になる行動などで相談できた。 ・ノートによる情報伝達、振り返りの時間などで様子を伝えてもらえます。	・これからも振り返りの時間の充実に努めていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40	4	1			・個別の懇談の面談には応じていきますので、困った時はお声をかけください。

	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	12	7	9	15		・日々の利用なので、保護者会などの設立は難しいですが、保護者同士の関わりや情報交換の場は、今後工夫していきたいと思います。
	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	36	4			2	・臨機応変に対応し、いつでも相談でき、解決に向けて考えていただき、励みになりました。 今後も適切に対応していきます。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	38	2			2	今後も適切に対応していきます。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務にマンする自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	35		1		6	・ネットを利用しないのでわかりません。 ・毎月、おたよりをもらって読ませてもらっている。 ・保護者からの評価(このアンケート)と同様、自己評価も行っているため、今後公表していきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	42					今後も適切に対応していきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	15	5	4		18	・児童発達支援事業所では、年に2回以上の避難訓練が義務付けられています。こうばいでも、年に2回行っていますが、それを広くお知らせしていませんでした。 今後は避難訓練を行ったあとに、伝えるようにします。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	16	4	4		18	と同様です。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	42					・子どもたちがこうばいを楽しみに来てくれていることが私たちの活力になっています。 これからも、子どもたちが主体的に楽しめる活動を工夫していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	41	1				・利用して成長を感じることができた。年長の1年で利用できて本当に良かった。 ・まだまだ力不足です。専門機関としてのスキルアップを目指していきたいと思います。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。